



2年生「ありがとう発表会」

13日(月)に2年生が生活科の学習として『ありがとうはっぴょうかい』を行いました。

会を開くにあたり、2年生一人一人からそれぞれの発表内容やがんばることが記された“招待状”が職員に手渡されました。

発表会では、「かけ算九九の暗唱」「マット運動」「なわとび」などの個人発表と合唱・合奏の全体発表、さらには名前の由来についても調べたことを発表するなど、2年生のよさが伝わってくる内容となりました。

また、進行や準備まですべてを子どもたちが担当して進める姿からも、この1年間の成長の様子や頼もしさが感じられました。

観客として参加した1年生にはお礼のカードがプレゼントされ、受け取った1年生は、「演奏が上手だった。」「九九がすごく早く言えてびっくりした。」と先輩の姿から大きな影響を受けていました。

またひとつ成長を遂げた2年生。春からの活躍がさらに楽しみとなりました。



マット運動「かえるの足打ち」



合奏「こぐまの2月」



後輩の1年生は解答者

年度末・年度初めの主な行事予定

15日(水) 修了式 12:15 下校
16日(木) 卒業式[4~6年] 12:15 下校
17日(金) 学年末・学年始休業 ~4/5
24日(金) 離任式 普通登校
9:45 下校 SB 同

4月6日(木) 紹介式・始業式
7日(金) 入学式 [1・5・6年]
12日(水) 給食開始日
17日(月) 家庭訪問(希望者)
20日(木) 授業参観日・PTA 総会

「困ったときは おたがいさま」 ～復興の日～

東日本大震災から12年を迎える10日（金）朝、「復興を考える日」として行われた全校集会の場で、次のようなお話をしました。（一部掲載）

- ① 私（校長）の家は大船渡魚市場のそばにあり、津波の水がすぐそばまで押し寄せてきたことから、近隣の家よりも電気の復旧が遅かったのです。そんな中、隣の家が電気を復旧するとドラムコードを持ってきて「うちの電気を使え」と。電気代や電気コードを通す窓から隙間風が吹くにもかかわらず「困ったときはお互い様だから。」と。
- ② 当時勤めていた学校は市役所の隣ということもあり、即避難所となり、800名近くの人たちが避難してきました。その対応に迫られ自宅に戻ったのは1週間後。そのときに「避難所対応大変でしょ。必要なものがあたら言って。よければボランティアに行くよ。」と近所の人に声をかけられたのですが、実はその人たちの家は流され、親戚の家に避難していたのです。「みんなそれどころじゃないでしょ。」の返答には、笑顔で「困ったときにはお互い様だべ」と。

これから皆さんが生きていく中で、「困ったときはお互い様」「困っているときにはいつでも力になるよ。」と言えるような、心の強い、心の優しい人になってください。

5年生以下の子どもたちは震災後に誕生。震災以外にも岩手・宮城内陸地震や台風による北上川・黄海川の氾濫と大きな自然災害はいくつも起きています。これらの災害を「自分たちが生まれてくるずっと前に起きた出来事」と捉えてしまうのではなく、その時の人たちの思いや願いが今も引き継がれ、自分たちに託されているということを子どもたちに感じ取ってもらいたいと思っています。

そのためにも普段の学習場面や復興の日などを通して、自然災害がもたらすものについて、子どもたちに伝える機会を大切にしていきたいと思っています。



○ 岩手県書写書道作品コンクール ○

【硬筆の部 推薦】 4年 H・K

【毛筆の部 推薦】 4年 H・K 6年 M・A



○ 全国児童画コンクール ○

【ベルジョイス賞】 1年 C・Y



○ 令和4年度方言川柳大会 ○

【秀逸】 1年 S・K 2年 T・Y 3年 T・R 3年 O・S 4年 I・W
6年 C・K

校報のHP版では、児童名をイニシャルで記しています。